

研修テーマ：北欧諸国の幼児教育における表現教育の理論と実践に学ぶ

デンマーク・ボーゲンセ：施設名 ノーフュンス ホイスコーレ

人と人との繋がりを見つめ対話を通して国籍・文化・個性の違いを受け入れて人として成長することを目指すフォルケホイスコーレ。デンマーク独自の教育スタイルは日常生活と学びの中にあるコミュニティーを活かした教える教育ではなく自主学習のスタイル。

自然環境が豊かで世界各地から学生を受け入れているため全生徒が寄宿している。



自然環境や環境プロジェクトを学ぶなど世界地図や教材が整っている教室。



アートクラスで表現を楽しんだ生徒の作品。授業は生徒自身が選択、組み合わせができる。



教室はたくさんある中で必ず外に出かけ自分と対話する時間を作り、学生同士ディスカッションをする。



一歩外に出ると手入れされた庭がひろがりどこでものんびり出来るテーブルがある。



日本から年齢や職業が様々な学生が集まり社会福祉や哲学を学んでいる。



施設名：レミーダセンターオーデンセ

イタリアのレッジオエミリアが発祥のアートプロジェクト教育を展開するアートセンター
様々な企業から提供されたリサイクル廃材を使って子どもが創造的に造形活動を楽しむ事
ができる子どものためのセンター。

廃材は子どもの手によってアート作品として
よみがえる。創造的なリサイクルの考え方。



室内は教室ではなく工場そのもの。大きな
テーブルで自由に作品を作ることが出来る。



世界中に広がっているレッジオエミリアの
紹介と子どもの学習について学ぶ。



たくさん並んだ窓は心を開くための創造性を
広げる素材としておいてある。



子どもがイメージを膨らましストーリーを
造形化する。テーマ：天使が舞い降りた



作品を活かすために背景となる写真を並べる
など子どもの造形意欲を高める演出も。

